

北部地域共助SDGs「未来のために今できること」 活動紹介（テキスト版）

「ふかや子ども食堂まめっこ」を運営しております、NPO 法人イエローハーツの田中と申します。

これから、子ども食堂ほか私どもの活動のご紹介をしたいと思います。

まず、子ども食堂をやろうと思ったきっかけからお話させていただきたいと思います。

会社員だった時に 50 歳になったら、地域貢献に時間を割きたいなあというのが私の夢の一つでした。そんな時に、少子高齢化、未婚率増加、女性の社会進出、子どもの貧困化などの様々な社会状況の中で、家族で食卓を囲む機会が少なくなっていることを、新聞やテレビで知りました。長年の子育てが終わった私にできる地域貢献を考えた時に、食事や居場所の提供をしたいと「ふかや子ども食堂まめっこ」を発足しました。

子育て真っ最中の時は、私も忙しくて手抜きもたくさんしました。でも一番幸せを感じていた時は、子供が私の手料理をほおぼって食べてくれるのを見ている時でした。家族の命をつなげているということに役立っている幸せを感じさせてもらっていました。

今まで地域の皆さんに支えてもらいながら、健やかな子供の成長を願いやってきたことを、今度は地域の皆さんと子供たちに、子ども食堂を通じて還元したいと思っています。子ども食堂はすぐに成果として見えるものではありませんが、子供の将来は地域の未来につながっていると信じて活動しております。

まず、沿革ですね。

最初に、平成 28 年 6 月に第 1 回の子ども食堂をオープンいたしました。SNS、フェイスブックやインスタグラム、ツイッターで色々と告知を始めまして、30 人ほどの親子が集まってくれました。

そして翌年、NPO 法人イエローハーツを設立しました。私個人の活動では、やはり寄付が集まらなかったり、ご支援していただける方にやはりもう少し信用を持っていただきたいということで、法人を設立いたしました。

子ども食堂というのは、どちらかというところ貧困対策といっても範囲が広いんですね。もうちょっとピンポイントで必要な方に必要なものをお届けしたいという思いから、フードバンクのセカンドハーベストさんと提携をして、フードパントリーという食材を配布する活動を始めました。平成 30 年からですね。

今まで約 5 年近く、こういった活動をしてきましたけれども、少しでも長く安定してこういった支援活動を続けていきたいという思いから、何か収益事業を考えるよう

になりました。子ども食堂でたくさんのお野菜をいただいていた農家さんから、出荷できないような不整形の野菜を購入して、ピクルスを作って売るという事業を去年から始めております。

子ども食堂の活動内容です。

日程は、毎月第2、第4木曜日の月2回開催しておりました。時間は、夕食の時間ですね、午後5時半から7時半までです。

場所は、深谷公民館をお借りして、二階の調理室で、私たちボランティアさんたちですね、10人ぐらいのお母さんたちで料理を作りまして、和室でみんなで食べます。そして食べた後に隣の会議室でみんなで活動するというをやっています。参加費は大人200円、子供、高校生までも100円です。

これは自由な時間に来て、自由な時間に帰るという形ですね。

お子さんと一緒にしたら誰でもOKなオープン型ということで、子ども食堂はやっております。

食事の後はみんなでレクレーションをし、核家族ではできない色々なことをやってきました。

地元の手打ちうどんが上手な方に来ていただいて手打ちうどんを習ったり、腹話術では子供たちは本当に真剣な顔で見入っていました。

また、色々な楽器に触れていただきたいということで、プチコンサートなども行いました。近隣にプロの演奏家の方が結構いらっしゃいますので、フルートだったり、マリンバだったり、ウクレレ等でプチコンサートをして、色々な楽器に触れていただきました。

そして、色々な職業を知っていただきたいかったり、勉強をしてもらいたいということで、お金の勉強ですね。これは税金ってなんでできたんだろうとか、税金って何に使われているんだろうとか、そういったことですね。そのほかには、おなか元気になるにはということで食べ物の勉強をしたり、また色々な職業の人に触れていただくような会もやりました。

夏は恒例のかき氷をしたり、なかなか経験ないですけども年末には臼と杵でお餅つきを経験していただいたり、そういったイベントを開催しております。

まず食事ですが、ボランティアのお母さんたちには、その場でお野菜を即興でたくさん色々な種類を混ぜて作っていただいて、まず子供たちが見た目がかわいく、楽しく食事ができるようにということで大変工夫していただきました。ワンプレートランチのように、お片付けも楽なようにということで、こういったお食事を提供しておりました。

多い時には、約120食ほど、120人ぐらいが集まってみんなで一緒に食べていまし

た。

今現在はコロナ禍で、皆で集まって食事をとることができませんので、お弁当配布に切り換えております。ただ、作る場所の設備の制限もありますので、今は100食を上限にして予約制で作って配布しております。

100食限定にしていますけれども、応募はやはりその倍ぐらいあり、なかなか皆さんにお配りすることができないので心苦しい状態ですね。

子ども食堂の食事風景です。

畳にみんなで座って大きなテーブルを囲って食べていましたので、おしくらまんじゅう状態ですね。隣の子が食べているから、今まであまり好きじゃなかった野菜だけでも、もくもく食べられるようになったということもお聞きしております。

食べ終わると自由遊びです。

コンサートがあったり色々なイベントもありますけれども、日程の半分は自由に遊ぼうということで、塗り絵を塗ったり、折り紙を折ったり、自分がやりたいことをもくもくと各自でやっているという姿が見られました。

これは先ほど紹介しました、手打ちうどんですね。これもみんな食い入るように見えていました。なかなか珍しい体験ですよ。

これは杵と臼でお餅つきですね。

これはプチコンサートの様子です。太鼓を実際に叩いたりして、とても楽しかったですね。

これはお金の勉強です。FPの先生に来ていただいて、お金の勉強をしている様子です。積極的に質問が出たり、割とお母さんたちも聞きいって勉強になりましたというようなお声もありました。

こちらは腹話術ですね。毎年来ていただいていますけれども、子供たちは、人形が実際にこうしゃべるってということがとても不思議なんですよね。本当に食い入るように見えていました。

年中行事の食育活動では、お父さんお母さんが忙しくても、少しお姉さんお兄さんになったら、自分たちでもご飯が作れるようにということで、子供たちでもできるような簡単なものですが、管理栄養士さんに来ていただいてお料理教室を開催しております。

そして実際に地元の農家さんのお世話になりながら、じゃがいもを掘ってその場で釜戸で蒸かして食べたり、持って帰ってお母さんにお料理してもらったり。トウモロコシってこうやってなっているんだよねというのを初めて見た子もいましたけれど

も、それを自分でもいで持って帰ったり。そんなことを体験していただいて、地元の野菜にたくさん触れていただく機会になっていると思います。

「まめっこ」にはどんな子供たちが来ているのかということをよく質問されますが、私たちは子ども食堂に来る親子に生活状況を根掘り葉掘り聞くことはありません。何か話したいことがあれば、お母さんの話をうんうんと、聞いてあげるぐらいですね。

365日メニューを考えることに疲れていて、子供が小さいので外食もままならないお母さんからは、「自分以外の人を作ってくれる手づくりの食事を落ち着いて座って食べられるというすごく幸せな時間でした」とか、「子どもを怒らないで食事がとれるのは久しぶりです」とか、こういったお声を聞くことが多いです。

「普段は仕事で忙しくて、朝も夜もほとんどお惣菜屋さんのものか冷凍食品だったり。大勢で食べるので普段食べないものでも子供が食べてくれるので嬉しい」とか。

「毎日次のまめっこはいつなのかと子供たちに聞かれたり、木曜日だということが分かってきたらしくて、曜日感覚がついてきてカレンダーを気にするようになったり」とかですね。そういった成長も見られるということですね。

月2回、たった2回では、貧困という観点からはなかなか直接救うということではできないことは分かっております。ただこういった中に、少しでも精神的にも助かっているよと思っていただける家族が混じっていることを期待しています。

これは約5年経ちますけれども、色々なところに掲載していただきました新聞や広報誌です。こういうことによって、また広がりを持って色々な方々に知っていただいて利用してもらえたらと思っております。

子供たちからも色々な感想が寄せられてきております。

これは農家さんにも実際にお渡しして、そういうことで色々なつながりを持たせていただいています。

フードパントリー活動というのは偶数月に開催しております。フードバンクから食材を送っていただいて行っております。

深谷市の児童扶養手当の受給者を中心に、希望の方約30世帯から40世帯の方たちにお配りしております。1回にお配りするのがダンボール三つぐらいになりますので、これで2ヶ月大分凌げるというお声をいただくことが多いですね。

そしてVegeBoxというブランドでピクルス活動をしております。

これは食品ロスの削減にもつなげたり、持続可能な法人になっていたり、それから将来的には就労支援ですね。就労先を確保したりという活動に充てたいなというこ

とを目標にしております。

先日のクラウドファンディングでは、本当にたくさんの皆さんにご支援いただき、30万円の目標のところ112%達成しております。

現在はインターネットで販売しております。ふるさと納税だったり、minne、Creema、BASEといった色々な手作り作家さんが出しているインターネット上で販売しておりますので、ぜひご活用いただければと思います。

以上になります。